

## 平成26年度県産農林水産物等の輸出実績について

平成26年度の県産農林水産物等の輸出実績について、別添のとおりとりまとめましたので、ご報告します。

当実績は、本県施策の重要な指標のひとつとして、毎年度調査しているものです。

## ○平成26年度県産農林水産物等の輸出実績の概要

・平成26年度の本県産農林水産物等の輸出実績は、3,542,127千円。

(前年比145%)

・部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	平成26年度輸出実績	(参考)平成25・24年度輸出実績	
	輸出金額(対前年比)	平成25年度	平成24年度
農畜産物	378,785千円(125%)	303,555千円	236,492千円
林産物	978,394千円(208%)	471,086千円	209,314千円
水産物	2,184,948千円(131%)	1,667,680千円	1,508,445千円
合計	3,542,127千円(145%)	2,442,321千円	1,954,251千円

流通企画課・林業振興課・水産振興課調べ(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

お問い合わせ先

流通企画課

楮本・山本

<内線:5406(直:096-333-2395)>

林業振興課

入口・廣田

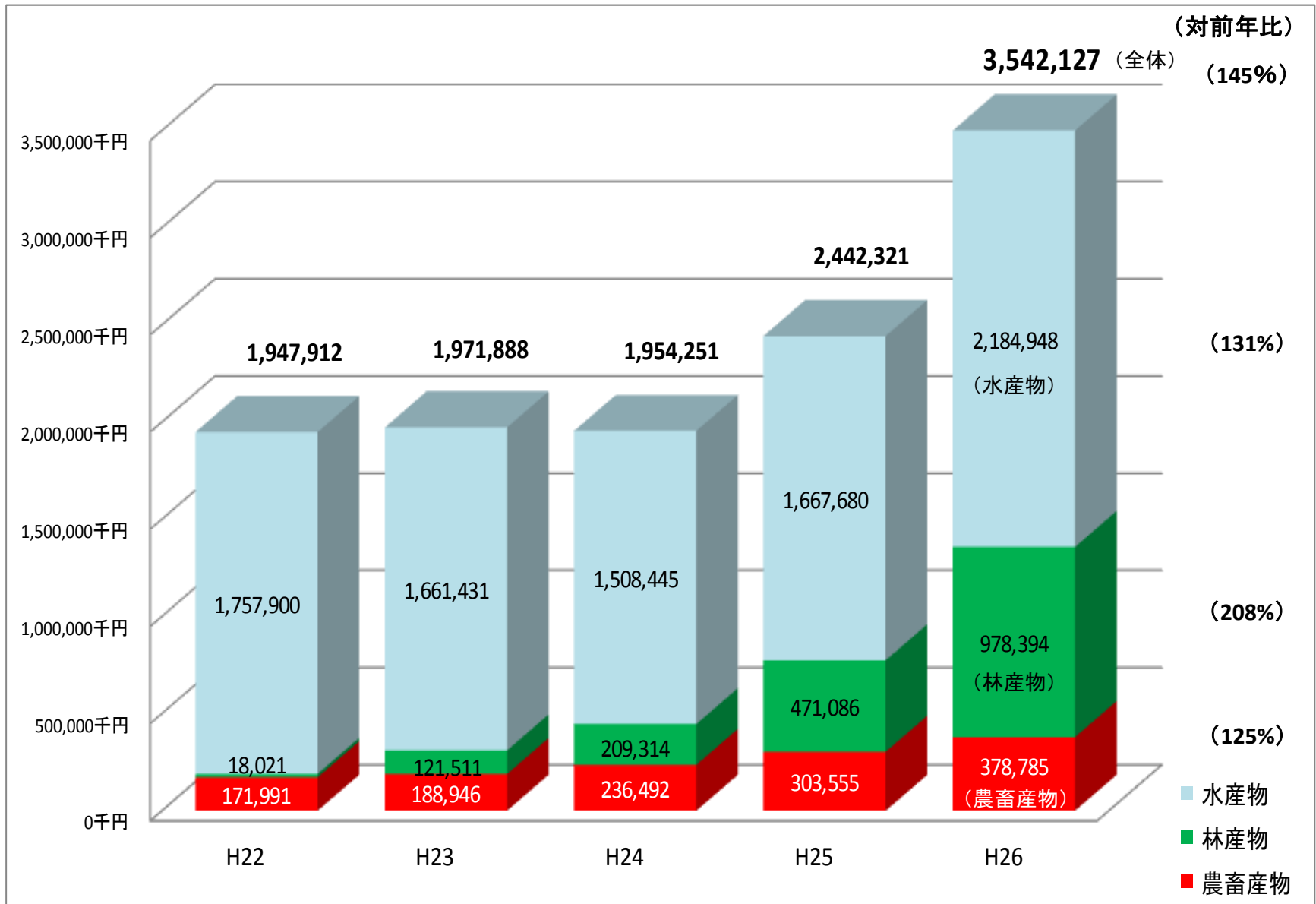
<内線:5633(直:096-333-2446)>

水産振興課

吉田・渡辺

<内線:5677(直:096-333-2457)>

# 平成26年度県産農林水産物等の輸出実績 (県調べ)



○平成26年度本県産農林水産物等の輸出実績は、過去最高の35億4千万円となった。

○農林水産物いずれも順調に輸出を伸ばし、前年対比145%となった。

# 各部門の概要

## ① 農畜産物

### 〈 概 要 〉

- 平成26年度の輸出額は、香港、シンガポールを中心に増加。
- 輸出拡大や新たな商流開拓を図るため、次の取組みを展開。
  - ・ 関係団体等と連携して、香港及びインドネシアでトップセールスを実施
  - ・ 現地での熊本フェアや飲食店向け商談会の開催、小売店での販売実証、バイヤー招へいを実施
  - ・ 低コストのための船便輸送を推進
  - ・ 輸出促進アドバイザーの巡回指導等による新規輸出者の掘り起こし



香港における販売実証

平成26年度 農産物等の品目別・国別輸出状況

(単位:千円)

	米	かんしょ	トマト	いちご	温州みかん	梨	牛肉	その他	合計	対前年比
香港	6,521	20,546	7,789	50,021	3,994	620	105,750	38,628	233,869	135%
シンガポール	13,349	4,592	61	387	0	0	0	2,607	20,996	114%
台湾	1,370	2,782	0	0	1,925	9,383	0	2,005	17,465	64%
その他	4,642	127	186	620	54,981	0	41,470	4,429	106,455	127%
合計	25,882	28,047	8,036	51,028	60,900	10,003	147,220	47,669	<b>378,785</b>	125%

### 〈 品目別の輸出状況 〉 (前年対比)

- 米: 香港やシンガポールに向けた現地精米用の玄米の輸出等により増加。(183%)
- トマト: 県・経済連・JETROが連携した生食のプロモーションにより、輸出量が増加。(149%)
- いちご: 現地での競争激化により、数量はほぼ横ばいとなったが、単価高により輸出金額は増加。(109%)
- 牛肉: 新規輸出者の増加等により、香港・アメリカ向けの輸出量が増加。(220%)

## ② 林産物

### 〈概要〉

- 輸出国別実績では、中国、韓国、台湾向けの順。円安の影響と中国及び韓国での需要の拡大により輸出量・輸出額ともに大幅に増加。
- 東アジアをターゲットとした輸出先国の加工・流通状況の調査、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談会等を実施し、新規国への販路開拓に取り組んだ。

### 平成26年度 木材の輸出状況(国別)

輸出国名	丸太		製材品		合計		対前年比 (金額)
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	
中国	37,986	474,887	2,783	82,642	40,769	557,529	180%
韓国	17,892	326,075	57	4,189	17,949	330,264	396%
台湾	7,126	80,448			7,126	80,448	110%
ベトナム	291	7,005	95	3,148	386	10,153	231%
合計	63,295	888,415	2,935	89,979	66,230	978,394	208%

### 〈品目別の輸出状況〉

- 輸出量の約95%が丸太で、製材品はわずか。製材品の輸出拡大を図るため、平成26年度は、ベトナム向けに製材品のテスト輸出を実施。
- 中国、台湾では、比較的価格の安い低質な材(B～C材)が求められており、木質パレット、型枠用等にスギが利用されている。
- 韓国では、健康に良い素材としてヒノキの人气が高く、内装用、家具用としての需要が拡大。



韓国バイヤー招へいによる産地商談

### ③ 水産物

#### 〈概要〉

- 北米、EU、アジア(韓国、香港、台湾、シンガポール等)向けに、ブリ、マダイ、カンパチ、マグロ等の養殖魚を中心に輸出。韓国、台湾等のアジア圏への輸出額は、増加傾向。
- 市場拡大が期待されるアジア市場への販路拡大のため、マレーシアにおいて現地の輸入商社との商談を実施した。

平成26年度 水産物の魚種別・地域別輸出状況

(単位:千円)

	ブリ	マダイ	カンパチ	マグロ	その他	計	対前年比
北米	1,364,382	11,346	81,596	6,907	22,376	1,486,607	121%
EU	37,165	3,020	1,528	0	2,091	43,804	59%
アジア	156,615	463,794	2,566	7,787	23,775	654,537	178%
韓国	4,490	451,323	0	0	0	455,813	243%
香港、台湾、 シンガポール等	152,125	12,471	2,566	7,787	23,775	198,724	110%
計	1,558,162	478,160	85,690	14,694	48,242	2,184,948	131%

#### 〈品目別の輸出状況〉 (対前年比)

- ブリ:北米、アジア向けの取引拡大により、輸出額が増加。(120%)
- マダイ:韓国向け活魚の取引拡大により、輸出額が増加。(235%)
- カンパチ:北米、EU、アジアに輸出し、輸出額は前年並。(104%)



マレーシアにおける商談